

2017年9月14・15日に、茨城同友会としては初めての設営となった『第45回青年経営者全国交流会in茨城』が開催され、青全交共通のローガンである『われわれ青年経営者で日本の未来を作ろう』また、魁の地である水戸に相応しい『語れ夢！ぶつけよ思い！強めよ我らの志！～挑戦こそが未来を創る～』をテーマに全国各地より約1200名の青年経営者が水戸の地にて学び合いました。今回は一部を大会レポートとしてご紹介いたします。

## 1日目分科会・懇親会

1日目の14日は見学分科会を含めた16の分科会よりスタートし、全ての分科会の室長を茨城同友会会員が務めました。

「企業づくりと青年部活動」「次代のリーダーへの期待」「人を生かす経営の実践」「事業承継」などをテーマに、見学分科会を含む、16の分科会がそれぞれの会場で行われました。

第16分科会では見学分科会として水戸ヤクルト販売(株) 代表取締役社長 内藤学氏を報告者に同本社において行われ、「人を生かす経営の実践」について、実際に社内で行われている「ビジョンと理念の対話会」を参加者に体験していただく事で会社のビジョンと社員のビジョンについて学び合うなど「思いの共有」を体感する場となりました。



分科会終了後には水戸プラザホテルに会場を移し、懇親会が行われました。

会場では茨城同友会会員が分科会を終えて到着された参加者を大きな拍手で出迎えました。

懇親会では県産品の食材に拘った料理と「おもてなし」に大満足いただき、ステージでは全国交流会のPRが行われました。また、懇親会終了後には水戸市内の「VOICE」にて「交流の広場」が行われ更に深い懇親の場となりました。



## 2日目全体会

2日目の15日も同じ水戸プラザホテルで全体会が行われました。

全体会は大谷豊 代表理事の歓迎の挨拶より始まり、広浜泰久 中同協会長からは挨拶とともに青全交での学びの深さについてお話がありました。その後、特別報告として中村高明 中同協会副会長より、「志そして人生の充実～青年経営者への期待～」をテーマに特別報告がありました。

記念講演では、茨城同友会会員である金砂郷食品(株) 代表取締役社長 永田由紀夫氏により『地場産業の底力で、世界に咲き誇る！～挑戦こそが未来を創る～』をテーマに報告がありました。永田氏は社員から経営者となったご自身の経験から、経営者の考え方と社員の考え方に違いがあり、それを理解した上で、情報公開し、経営者が目指す自社の目標について社員に伝え続けることが重要であると話されました。また、ガイアの夜明けでも取り上げられた、海外進出についても自社が一番つらいときに挑戦し、次代に備えてきた。自分に自信をもってチャレンジすることが大切であると青年経営者に語られました。

最後に八巻大介・青全交実行委員長から次回開催地の高木美香子・沖縄青全交実行委員長へバトンが渡され二日間におよぶ茨城青全交は閉会となりました。

なお、全体会後には、オブショナルツアーが行われ参加者は水戸の歴史に触れられました。



## 青全交を設営しての学び

実行委員会が組織されてからの約2年間は茨城同友会にとって大きな変化のときであったと思います。日々忙しい時間をさいて、何度も集まり、会場やルートの確認をし、またPRや分科会の打ち合わせに全国を周られた方もいらっしゃると思います。

今回の青全交に少しでも関わっていただいた方は、それぞれの『挑戦』があった事と思います。

そしてこの『挑戦』に終わりはありません。茨城青全交の設営を思い出ではなく、キッカケにして今後も『挑戦』し続けましょう。

バトンは沖縄に引き継ぎました。しかし引き継いだのはバトンだけでなく、「経験と思い」もセットです。

今回、得ることができた全てを沖縄に伝え、来年の11月は沖縄へ更なる学び合いの旅に行きましょう。

最後になりましたが、これまで実行委員としてご尽力をいただいた全ての方と茨城同友会を育てていただいた先輩方に心より御礼を申し上げます。

